

## 解答

一

1 ウ 2 イ 3 エ 4 イ 5 ア

二

問一 (Ⅰ) エ (Ⅱ) ア (Ⅲ) カ (Ⅳ) イ

問二 (a) ウ (b) エ

問三 ア

問四 エ

問五 イ

問六 ウ

問七 自分の気持ちを落ち着かせて、妹が不安がらないように振る舞おうとしている。

問八 ウ

三

問一 (Ⅰ) カ (Ⅱ) ア (Ⅲ) イ (Ⅳ) エ

問二 ウ

問三 エ

問四 ア

問五 便利な機械を使うことで、道順からイメージを作り上げるといふ努力をしなくなるために、「イメージを使っ

て伝える」という、日本人が培ってきた知恵や技術が失われていく。

問六 ウ

問七 ア

問八 エ

## 解説

二

問三 ——線1の直前に着目します。慌ただしく来た孝俊の父ちゃんに「政さん、帰ってないのか」と聞かれて、

おれと由真がきょんとしている様子から、おどろいてうなずくことしかできなかったことがわかるので、選択肢アが選べます。

問六

港にいるときからここに来るまで、ひと言も口を利かず、ぎこちない笑顔で「また、明日な」と言った孝俊の不器用さをおかしく思い、自分への気づかいに心を打たれたことや、飛び出してきた由真に対し、心配ないと伝えるおれの姿から、選択肢ウが最も適当であることがわかります。

三

問二

——線1の前後で、欧米の町ならば通りの名前と番地さえ告げれば、目的地に到達できるが、日本の場合はそうはいかないことを述べています。そのため、通りに名前がついていなくても、だいたいの行き方を聞けば、なんとかなることを不思議に思っていることがわかるので、選択肢ウが選べます。

問六

後半部分で、人間は地球上のあらゆる場所を名づけ、名づけることによって惑星を支配するにいたったが、土地が歴史や記憶と切り離され、もはや地名を必要としない時代へ移行しつつあり、消えゆく地名は、地名が無意味化している徴候だと説明しているので、選択肢ウが選べます。